



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 10日 火曜日	試合コード	#84
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	RUS	35	前半	28
	17-16			
	後半			
	18-12			
	第一延長前半			
	第一延長後半			
	第二延長前半			
	第二延長後半			
	7m c			
Russia(ロシア)				Montenegro (モンテネグロ)

戦況	見出し	粘るMNEを下し、RUSが勝利
	前半	<p>D組1位のRUSとC組2位のMNEのMAIN ROUND-Group2のこの試合は、MNEのスローオフで開始。RUSのDFは、6-ODFシステム。先取したのは、MNEのLBからのランニングシュート。一方のMNEも6-ODFシステム。MNEはRWのループシュートが決まり2連続得点、RUSも速いパス回しからRWが返す。3分過ぎ、MNEは退場処分を受け5人でのDF。RUSはDFを揺さぶり7mTを獲得し、確実に決め2対3の1点差ビハインド。序盤、MNEも7mTを獲得しゴールに叩き込み2点リードする。優れた身体能力でパワー溢れるプレーを繰り広げ10分過ぎ、6対5の1点差でMNEがリード。RUSはLBからの強烈なロングシュートが決まり同点。このタイミングでMNEがタイムアウトを申請。RUSは変則的な5-1DFで仕掛けるが、強烈なロングシュートが決められ失点。追いつきたいRUSだが逆速攻で連続失点。さらに引き離され退場処分9対6の3点差。RWから加点され、4点差となったところでタイムアウトを申請。久々となるカットインシュートを決めるが、MNEはリスタートからLWがループシュートを決める。引き離したいMNEだが退場者を出し失点し、2点差まで追い上げられる展開。RUSはコートを広く使いRWからのシュートが決まり1点差。MNEは2回目のタイムアウトを申請。RUSはパスカットから速攻をかけ同点に追いつく。MNEはPVから得点をあげ1点リード。直後退場者を出し、失点。23分過ぎ、RUSは速攻を成功させ14対13でリードし、さらに追加点を加え15対13の2点リード。終盤、一進一退ゲーム展開を繰り広げる中、RUSは退場者を出し、GKをCPに代え6人攻撃を試みるが失敗。RUSは、17対16の1点リードで前半を折り返す。</p>
後半	<p>後半のスローオフは、リードするRUS。後半最初の得点は、MNE-RBのカットインシュートが決まり同点。このプレーでRUSに退場処分。RUSは、GKをCPに代え6人攻撃しRWから得点する。4分過ぎ、MNEに退場処分、RUSは7mTを獲得し確実に決め19対18の1点差。5人のDFにRW、この試合8得点目となるシュートを決め2点差。連続得点をあげ3点差としたところで、MNEは最後のタイムアウトを申請。大型RBからのシュートはバーに嫌われ、得点ならず。10分過ぎ、引き離したいRUSだが退場者を出し、2点差とされる。5人で攻めるRUSは、LBのカットインが決まり3点差。2分間を耐え抜いた。中盤の15分、26対23でRUSが3点リード。追いつきたいMNEは、RWのシュートがバーに嫌われ苦しい展開。18分過ぎ、この試合初めての5点差としたRUS。MNEは、高い打点からの鋭いロングシュートを決め4点差。8分を残しRUSはタイムアウトを申請。残り5分、31対26でリードするRUSに対し、MNEは、高い位置からのプレスDFを仕掛けるが、高い身体能力を持つRUSを守ることができず引き離される。この試合を制したのは、RUS。プレーヤーオブザマッチは、この試合12得点を挙げたRUS-no36のMANAGAROVA Iulialに贈られた。</p>	



戦況作成者	牧 均
-------	-----